

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 まいる一むこども教室貝塚校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		なるべく物を置かずにスペースを広く保っている	維持していく
	2	職員の配置数は適切である	○		現場の働きやすさの声を聞くようにしている	日々の業務で聞くことができなくなっていることもある。ゆとりある時間が持てるようにする
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		最小限の必要な情報のみと心がけている	維持していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	活動に集中できるようにあまり物を置かないようにしている	見た目きれいにできているが、不十分なところもある。スタッフ個々の意識を高く持つようにする。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の朝礼・終礼や支援会議で話し合う機会が多く持つようになっている。	業務に追われると回数や内容の密度がなくなることがあるためゆとりあるスケジュールを組めるように努力していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		立ち上げより初めての実施であるため良い機会となった。	具体的な意見はなかったが、今後意見を遠慮なく書いていただけるように関係を構築していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		株式会社KTAJのホームページこども教室に掲載中	今後も継続
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		組織全体で定期的な研修が行われている	今後も継続していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者のニーズと利用児本人のニーズのすり合わせを行いながら反映させている。	もう少し保護者の意見を聞き取りできる環境を整えていく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		様式は大きく分類されているものになる。	アセスメントが不十分なことが多くあるので具体的な内容については口頭で質問していく必要がある。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	発達支援については具体的に記載はあるが、「家族支援」「地域支援」については具体的な記載はなく日々のプログラムの中で実施している。	支援計画書に今後記載していく方向
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		実施している	児童の日々の変化の中で臨機応変に対応している
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士を中心にまとめている	今後も継続
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続するものしないものはミーティングで話し合っている	より新しいプログラムを検討していく
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		活動の中で利用児個々の状況に合わせて集団・個別の対応をしている	評価の中で個別が特に必要な利用児には保護者にも伝え計画の中にも組み込んでいく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝の申し送りで情報の共有をしている	今後も継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の中で情報の共有が行われている	今後も継続していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケア記録にて記載し情報の共有をしている	記録内容をもう少し内容の濃いものへとしていく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者と一緒に評価を行いながら次の計画書に生かしている	業務が落ち着けば6ヶ月以内にも保護者さんとともに評価を行っていきたい。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している	可能であれば児童と直接かかわる現場スタッフ1名を参加させたい
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		当事業所は関連の児童が多く積極的に連携を取っている	こちらから積極的に動かないと連携が難しいのが現状
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	保護者への働きかけを行っている	今後重要と考え働きかけを継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時担任に学校での様子を確認するようにしている	支援学校は個別支援計画書があるため保護者にお願ひして見せてもらえるようにしていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要な場合連携を取っている	まだまだ密ではないのでこれから積極的に動けるよう努力する
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	地域のイベントを検討中	地域のイベント参加をして交流の場を持てるように考えたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	参加したいと働きかけている	貝塚市は放課後デイサービスの参加要員がないと聞いている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の送迎時に情報の共有を行っている	今後も些細な情報であっても共有を続けていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者のニーズに合わせた助言を行っている	必要に応じて具体的な成功例も含めた対応を助言していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にしっかりと説明している	今後も継続していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		行っている	日々の悩みを聞いてほしい保護者も多く悩み事を療育へと繋げていくことが課題として残っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時間が多く時間が許される限り聞くようにしている	送迎時の話だけでは不十分な保護者もいる中電話対応より信頼を得るため対面での聞き取りが必要な時がある。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		イベントとして催しを検討中	1周年記念としての内容検討中
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者より意見を頂いた場合すぐに児発管かチームに報告しすぐに対応を心がけている	他機関との連携が必要な場合時間がかかることもあり課題として残る
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活用しているHuglにて活動報告を公開している	業務に追われ公開件数は少ないため担当スタッフの業務がスムーズに行えるようにスタッフ間でフォローしていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		写真撮影の許可など契約時に確認を取るなど十分に配慮している	今後もスタッフ共有の元継続していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		スタッフ管理が難しい方についてはまめな関わりを持ちながら持ち物の忘れ物などが内容になっている	関わりを持ちたがらない、お知らせは見えてくれない保護者については対応を思案中
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		何からはじめられるのか？そこからになるが検討していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			保護者への周知が今後必要
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に行っている	あらゆる状況を想定した避難訓練の実施を心掛ける
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント実施による情報共有を行っている	知らずに服薬内容が変更していることがあるため薬情の控えを頂くことが必要
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		スタッフ共有の元行われている	今後も継続していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所及びまいる一む全体で共有している	件数が少なく感じている。個々に意識をあげて記入を心掛けていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な研修を実施している	今後も継続していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		拘束が必要な場合は個別支援計画に記載するとともに同意書へのサインをお願いしている	今後も継続していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。